

当院オリジナルの食品リン含有表を用いた高リン血症対策

長崎腎病院

○川口唯 山下万紀子 渡部さゆり 川口利江 川内リカ 吉野秀章
江藤りか 橋口純一郎 船越 哲

【背景・目的】

一般に市販されている食品にはリンの成分表示がなく、把握しないまま食事を摂取する現状にある。そこで当院で、食品中のリン含有量を調べ、表にして掲示する試みを行った。

【対象・方法】

対象は当院へ通院中の外来透析患者 320 名。高リン対策プロジェクトチームにて掲示物のテーマについて定期的に検討を行い、患者側の需要と意見も取り入れながら、具体的な商品名と写真をリン値のスケールに対応する食品リン含有表を作成した。

【結果】

リンの表掲示前のリン平均値は $5.5 \pm 1.6 \text{mg/dL}$ であり、掲示後一か月目で、 $5.2 \pm 1.4 \text{mg/dL}$ と有意に減少し ($p < 0.05$)、その効果は持続している。

【考察】

因果関係は断定できないものの、食品リン含有表を掲示する事により有意にリン値は低下した。また、食品のリンの表示義務はないため、医療者で情報提供を行う必要があると思われた。